素形材技術セミナー

「鋳造欠陥における『新なぜなぜ分析手法』と実際の現場での活用事例の演習」

ご　案　内

主催：一般財団法人 素形材センター

鋳造不具合を、繰り返し起こっているような慣例化した不具合名で処理してしまっている事は多くないでしょうか？真の不具合原因を突きとめる事ができなければ、正しい対策を打つことはできません。鋳造は、液体から固体への相変態を伴う加工法であるために、他のものづくりとは異なる鋳造独特の不具合の傾向とその分類手法があります。本セミナーの「新なぜなぜ分析手法」は、不具合品を、**場所**「部分・全体・内側・外側」や**様子**「模様・穴・異物」**形態**「平滑・ギザギザ・自形・他」で分類し、最後に**因子**「鋳型・溶湯」に分けて考察することにより、正しい不具合名とその主たる原因を見つけ出す、QC 手法とは異なる鋳造独特の新しい不具合解析の手法です。

本セミナーはグループ討議を通じて「新なぜなぜ分析手法」を体感して頂く内容となっております。鋳造欠陥特有の分類手法で欠陥を分類し、名医のように欠陥の原因と対策ができる技術者を育てる事を目的とした講座です。小中学生でも分類できる手法ですので、１人でも多くの鋳造に関わる技術者やユーザー及び商社関係の方々の参加をお待ちしております。ご多忙中とは存じますが、ご参加頂けますようご案内申し上げます。

●日　時　令和9年1月20日(水)　10:00～17:00

機械振興会館地下3階　研修2号室　　東京都港区芝公園3-5-8

●プログラム

コーディネーター　Casting Service　博士（工学）菅野利猛

１．「新なぜなぜ分析手法」の説明 ----------10:00～11:30

従来の QC や従来の「なぜなぜ分析」との違い、いくつかの不具合に対する「新なぜなぜ分析手法」の事例の紹介と説明

Casting Service　博士（工学）　菅野利猛

２．グループ討議によるなぜなぜ分析の演習（不具合事例１）----------12:30～14:00

Casting Service　博士（工学）　菅野利猛

３．グループ討議によるなぜなぜ分析の演習（不具合事例２）----------14:00～15:30

Casting Service　博士（工学）　菅野利猛

４．グループ発表/正解の解説及び各種相談事受付け----------15:30～17:00

Casting Servic e 博士（工学）　菅野利猛

＊状況によっては、プログラムの変更、開催を中止させていただく場合がございますので、ご了承ください。
会場では、一切の録音、録画をお断りします。予めご了承下さい。

参加者の感想　（R7 年 1 月実施）

・不具合について他社の方々と話をしながら進めていくことで、知識も交流も深められるいい機会でした。

・セミナーの内容も充実したものでしたが、グループワークの時間に、同業者の方々と深い内容まで議論することができ、とても有意義な時間でした。

参加要領

◇定　　員　30 名　（申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります）

◇参 加 費　19,800 円　（消費税込み）

素形材センター特別賛助会員、一般賛助会員は、50%割引。

素形材センター協賛会員割引はございません。

開催前日まで参加取消のご連絡がなく、当日欠席されても参加費はお返しいたしません。

◇申込方法

素形材センターホームページからお申込み下さい。

申込：https://www.sokeizai.or.jp/pages/110/

一般財団法人　素形材センター　企画部

E-mail kensyu@sokeizai.or.jp　　電話 03(3434)3907

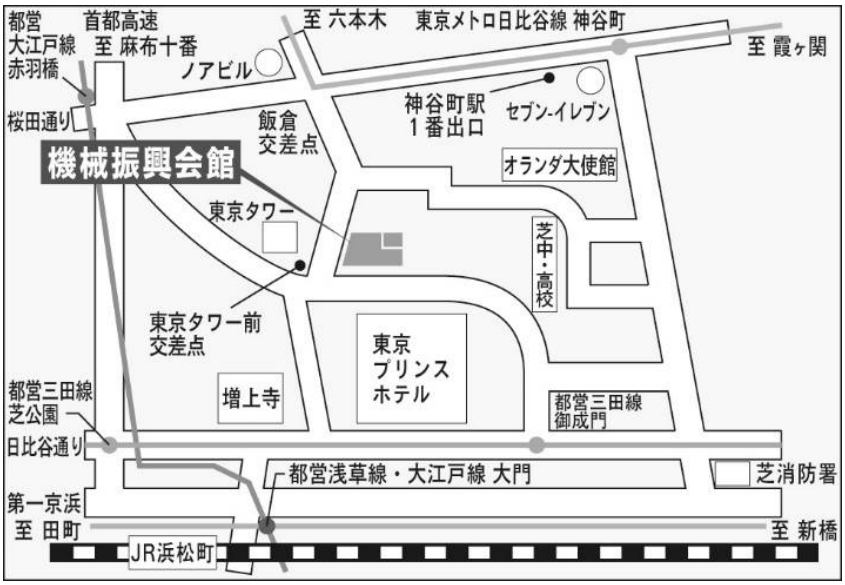
◇参加費のお支払い

参加申込後、請求書をメール送信いたします。

（領収書を必要とする場合は申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料はご負担願います。）

◇申込締切　令和 9 年 1 月 12 日(火)

◇会場案内図



地下鉄：

東京メトロ日比谷線神谷町駅下車

（徒歩 8 分）

都営三田線御成門駅下車

（徒歩 10 分）

都営大江戸線赤羽橋駅下車

（徒歩 10 分）

都営浅草線大門駅下車(徒歩 15 分)

ＪＲ：浜松町駅下車(徒歩 17 分)

バス：浜松町～東京タワー路線東京タワー前下車

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーの事務に利用するとともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。

また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。